

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山本 佳代子	職名	助教	学位	修士 (学術)
----	--------	----	----	----	---------

研究分野	研究内容のキーワード
レクリエーション 障害者福祉	障害 きょうだい レクリエーション 芸術活動 QOL

研究課題
<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が取組む芸術活動における社会的包摂に向けた実践のあり方 ・きょうだい支援プログラム

担当授業科目
<p>ヒューマンサービス基礎演習 (前期)</p> <p>相談援助実習指導Ⅱ (通年)</p> <p>ソーシャルワーク実習指導Ⅰ (通年)</p> <p>基礎実習 (通年)</p>

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【ヒューマンサービス基礎演習】</p> <p>一年前期の必修科目でヒューマンサービスの専門家として、基本的なコミュニケーションスキルについて理解を深めることを目的とした科目である。他者と関わりながら、自分自身への理解や自分の行動を多面的に捉える力がつけられるよう、グループワークを積極的に取り入れた。毎回振り返りの時間を設け、自身の思いを言語化し他者と共有し、さまざまな意見を吸収できるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅱ】</p> <p>実習前は、実習において必要な知識を学ぶことができるよう課題を設定し、グループ発表を行いながら全体で共有した。計画書作成時は、それぞれが目的を明確にしながら取り組めるよう個別指導を行った。実習後は、各自総まとめのスライドを作成することを通し、学びを整理するとともに全体で共有し、それぞれの実習での学びを全体での学びにつなげた。</p>
<p>授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅰ】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、見学実習を行なうことができなかったが、一人ひとりが主体的に学ぶ姿勢を持つことができるよう、先輩の実習体験や学びを聞く機会を設け、実習での具体的なイメージを持ち準備ができるよう努めた。事前学習では、車いす操作等の実技も取り入れ、基礎的な技術を習得し実習に臨む準備も整えた。また計画書作成時は、個別指導を行い目的を明確にすると共に、事前学習で各自が取組む課題を明確にできるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【基礎実習】</p> <p>一年次で初めての实習であるため、3名の教員が、少人数のグループを担当し個別指導ができる態勢を整えた。マナーや心構えなど全体で共有できることとそれぞれの実習先の事前学習指導等、個別指導を併用しながら一人ひとりの実習体制を整えた。また実習中は、グループワークを取り入れ、それぞれの実習体験や悩みを共有することを通し、グループ全体で協力し実習を終えることができるよう取り組んだ。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本レジャー・レクリエーション学会 九州レジャー・レクリエーション学会 日本小児保健協会		2004～ 2013～ 2021～

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 障害のある人の芸術活動に関する現状と課題—社会的包摂の視点から—	単	2023	西南女学院大学紀要 vol.27.143-151	日本における障害のある人の芸術活動について、どのように政策が展開されてきたかその過程を整理する。また、事業所における具体的な「ソーシャルアート」の事例を取り上げ、社会的包摂の視点から考察し、今後の研究における課題を述べた。
(翻訳)				
(学会発表) 1. 重度の障害のある同胞と暮らすきょうだいの心理社会的体験—当事者の語りの分析から—	共	2022.6	第 69 回日本小児保健協会学術集会 (於 三重県総合文化センター)	① 障害のある同胞と暮らすきょうだいの心理社会的体験を、きょうだい自身の語りを通じて明らかにすることを目的に研究を行った。その結果、きょうだいは同胞への捉え方が変容する心理社会的体験を理解し、それぞれの位相に合わせた支援を提供することが必要であると示唆された。 ② 樋口由貴子, 笹月桃子, 山本佳代子, 文屋典子, 野井未加, ③ 第 69 回日本小児保健協会学

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				術集会講演集 心身障害児(者)支援 (P128)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
<p>○ボランティア相談室 外部のボランティア受け入れ団体と連携し、新年度の初めにボランティア講習会を開催。ボランティア情報のメール配信やボランティア活動の相談等への対応。</p> <p>○障害のある子どもときょうだいを対象とした地域貢献活動「ちゃれんじ」 主に福祉学科の学生と共に、障害のある子どもとそのきょうだい、家族を対象とした余暇活動支援を実施。今年度もまだコロナ感染症の影響があったが、学内外で活動を実施することができた。イベント別に他学年の学生スタッフでリーダーを構成し、企画から実践まで担当することで、スタッフ一人ひとりが活動を運営する</p>

力をつけることを目指している。